

施策評価調査[途中評価(平成30年度実施)]

政策横断プロジェクト

政策横断プロジェクト名 アジア・国際戦略～海外との友好交流関係と地の利を活かす～	作成年月日	平成30年10月26日	長崎県総合計画記載ページ	150	P
	主管所属	×××部△△△課			
	課(室)長名	課長 ●●●●			
	施策関係所属(部局名課名)	■部□口課、▲部◇◇課			

1 プロジェクトの内容

**【取組の概要】**  
海外との歴史的な交流の積み重ねと、アジアへの最前線に位置する地理的優位性を生かし、友好交流関係の拡充や人的ネットワークの強化などソフトパワーを強化し(第一層)、専門的な知識や情報による県内企業への支援を行い(第二層)、観光、輸出、投資などの経済的実利の創出や拡大(第三層)へと段階的な取組みを推進する。

**【将来像】**  
国際県・長崎の再興  
・世界の活力の長崎への取り込み  
・国際交流の拠点～世界の最先端が長崎へ～  
・交流から経済的実利の獲得まで、相互発展の実現

長崎県総合計画チャレンジ2020から、将来像を引用しています。

2 プロジェクトの進捗状況と評価

施策の進捗状況の評価  
□A: 順調    ■B: やや遅れている    □C: 遅れている

**＜＜これまでの成果＞＞**

- 海外の国(地域)に応じた観光プロモーションの実施や旅行商品の造成の働きかけ、さらには受入環境105%の75.1万人を達成できた。
- クルーズ客船入港数について、国内外クルーズ船社・旅行等へ訪問セールスや視察受け入れ等を実施し
- 国際定期航空路線については、これまでの積極的な誘致の成果として、平成31年1月19日から、長崎～香港
- 県内企業の海外市場調査等に対する支援、中国・東南アジアビジネスサポートデスクにおける支援、ジ
- 提供や相談対応等に取り組んだ結果、県内企業6社の海外展開・販路拡大につながった。
- 県産品の輸出額は、海外での長崎フェアにおける県産品のPRや商談会の実施など、産品や相手国の状
- 1,800百万円)、平成29年度2,939百万円(目標2,151百万円)であり、平成29年度実績の対前年度比は120
- アジア諸国における本県の認知度は、中国、韓国、東南アジアなどを中心にSNS等の様々なツールを
- 行った結果、アジア諸国における本県の認知度は、平成28年度は57%(目標52%)、平成29年度は61%(目標

**＜＜進捗状況に課題がみられる分野＞＞**

- 平成29年度の国際定期航空路線の利用者数は、前年度に比べ1.9%減少したことを背景に、目標値の61%に留まっている。

政策横断プロジェクト全体の進捗状況について、数値目標の進捗状況や横断プロジェクト関連事業の評価結果等を参考に「順調」「やや遅れている」「遅れている」の3段階で評価しています。

県産品の輸出額

左欄を説明する代表的な成果指標に関するグラフ等を記載しています。目標値がない場合や未確定の場合は、関連指標や写真等を掲載しています。

総合計画策定時に設定した「数値目標」及び「目標値」と「実績値」「達成率」等を記載しています。 ※政策横断プロジェクトは策定時に年度毎の目標値を設定していませんが、参考とする年度の目標値の目安を掲載しています。

3 プロジェクトの数値目標の進捗状況

指標	基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	進捗状況の分析
外国人延べ宿泊者数	目標値①		64.6万人	72.1万人	80.4万人	90万人	100万人(平成32年)	外国人延べ宿泊者数は、訪日客数が過去最高を記録したことを背景に日本全国で順調に増加する中、本県においても前年度を上回り、目標値に達している。  数値目標の進捗状況をもとにその達成度に至った要因・原因等を分析・検証した結果を記載することとしています。
	実績値②	51.9万人(平成26年)	71.2万人	75.1万人			進捗状況	
	②/①		110%	104%			順調	
県産品の輸出額	目標値①						38.1億円(平成32年)	加による(平均1.9%)の増減情報(1.9%)を国内の出や万円の水準で見ていく。死にからや、輸出430万、まなっ ●「達成」・・・最終目標年度の目標値を達成した。(累計ベースの目標を設定していて、実績が極めて好調な場合や目標の最終年度が既に到来した場合など) ●「順調」・・・平成29年度の目標を達成した ●「やや遅れ」・・・平成29年度の目標値は達成できなかったが、基準値からの改善はみられる ●「遅れ」・・・平成29年度の目標値を達成できず、基準値の数値と比べても改善がみられない(実績が基準値から下回っている、または29年度目標値に対する実績値が70%未満の場合)
	実績値②						進捗状況	
	②/①		135%	136%			順調	

4 新たな課題や社会情勢の変化等

●海外からの誘客については、日本全体の訪日観光客数は平成29年に過去最高の約2,869万人を数えたが、依然、外国人延べ宿泊者数の約6割が三大都市圏に集中しており、東京～京都～大阪といったいわゆるゴールデンルートから本県への誘客を図る必要がある。

●定期航空路線に旅まえ、旅なか（）の増えつつあることから、国際航空路線については、信を強化するとともに、●特定複合観光施設（IR）に力を入れていく。併せて、●外国人材の受入、活躍の受入環境を送出し国（地）を調査検討していく。

●海外からの誘客については、中国、韓国、台湾、香港の主要4市場に加え、今後成長が見込まれる東南アジア各国やラグビーワールドカップ2019で多くの訪日が見込まれる欧米豪市場において、更なる認知度の向上に取り組むとともに、各市場に訴求するテーマや素材について、●国際航空路線については、信を強化するとともに、●特定複合観光施設（IR）に力を入れていく。併せて、●外国人材の受入、活躍の受入環境を送出し国（地）を調査検討していく。

●海外からの誘客については、中国、韓国、台湾、香港の主要4市場に加え、今後成長が見込まれる東南アジア各国やラグビーワールドカップ2019で多くの訪日が見込まれる欧米豪市場において、更なる認知度の向上に取り組むとともに、各市場に訴求するテーマや素材について、●国際航空路線については、信を強化するとともに、●特定複合観光施設（IR）に力を入れていく。併せて、●外国人材の受入、活躍の受入環境を送出し国（地）を調査検討していく。

以下のような事項を記載しています。

- 総合計画策定以降、新たに発生した課題・社会情勢の変化
- 総合計画を推進するにあたって課題となっている事象等
- 県政世論調査・審議会等における意見等・個別アンケート等の実施結果

5 課題を踏まえた今後の対応方針

●海外からの誘客については、中国、韓国、台湾、香港の主要4市場に加え、今後成長が見込まれる東南アジア各国やラグビーワールドカップ2019で多くの訪日が見込まれる欧米豪市場において、更なる認知度の向上に取り組むとともに、各市場に訴求するテーマや素材について、●国際航空路線については、信を強化するとともに、●特定複合観光施設（IR）に力を入れていく。併せて、●外国人材の受入、活躍の受入環境を送出し国（地）を調査検討していく。

●海外からの誘客については、中国、韓国、台湾、香港の主要4市場に加え、今後成長が見込まれる東南アジア各国やラグビーワールドカップ2019で多くの訪日が見込まれる欧米豪市場において、更なる認知度の向上に取り組むとともに、各市場に訴求するテーマや素材について、●国際航空路線については、信を強化するとともに、●特定複合観光施設（IR）に力を入れていく。併せて、●外国人材の受入、活躍の受入環境を送出し国（地）を調査検討していく。

●海外からの誘客については、中国、韓国、台湾、香港の主要4市場に加え、今後成長が見込まれる東南アジア各国やラグビーワールドカップ2019で多くの訪日が見込まれる欧米豪市場において、更なる認知度の向上に取り組むとともに、各市場に訴求するテーマや素材について、●国際航空路線については、信を強化するとともに、●特定複合観光施設（IR）に力を入れていく。併せて、●外国人材の受入、活躍の受入環境を送出し国（地）を調査検討していく。

今後の施策の方向性を示すものとして以下のような事項を記載しています。

- 政策横断プロジェクト内で進捗が遅れている取組への対策
- 「4 新たな課題や社会情勢の変化等」で記載した新たな変化や課題、県民の声を受けての取組の方向性、
- 伸びている成果をさらに伸ばすための取組

本県の観光情報の発信に向けて準備を着実に進めるとともに、県民の声を受けての取組の方向性、伸びている成果をさらに伸ばすための取組

6 プロジェクトを推進する主な事業の状況

番号	事業名	担当課	事業費(千円)	事業概要
1	中国プロジェクト推進事業	政策横断プロジェクトを推進する主な事業の所管課、平成30年度予算額、事業概要について記載しています。		中国における県内企業の技術、観光・県産品等のPR及び本県の認知度向上を図るため、中国国際投資貿易商談会に出展するとともに、華僑華人との連携による青少年中華伝統芸能公演の誘致や、高齢者ビジネスの海外展開促進等にかかるセミナーを開催。
2	東南アジアプロジェクト推進事業	国際課	13,969	本県の認知度向上を図るため、ベトナムにおいて、平成29年度に寄贈した「御朱印船」を活用した情報発信や現地政府などと連携したPRを行うとともに、タイにおいては、現地の長崎ゆかりの飲食店等と連携したプロモーション等を実施。
3	アジアビジネス展開プロジェクト推進事業	経営支援課	22,424	アジアビジネスサポートデスクの設置やビジネス展開支援事業補助金の実施、長崎県上海事務所を通じた対中国ビジネスへの対応等により県内企業のアジア地域での事業展開を支援する。
4	長崎県産品海外PR事業	物産ブランド推進課	12,975	庁内の長崎県アジア国際戦略本部の下に設置した「長崎県産品輸出拡大プロジェクト」ワーキングチームによる関係機関との連携を密にしながら、中国等の東アジア地域での長崎物産フェアを継続して開催することで、効果的に本県の知名度向上と県産品の販路拡大を図る。
5	長崎県産品輸出戦略強化事業	物産ブランド推進課	10,897	県が航空路線や観光客誘致、国際交流等に戦略的に取り組む国（主に東南アジア）において、県産品の新たな販路を開拓し、飲食店、小売店等での県産品の取り扱い拡大を目指す。
6	ビジットながさき・インバウンド旅行需要創出事業	国際観光振興室	29,150	海外市場に訴求するテーマに基づく提案型・課題解決型セールスや観光展への出展、多言語ホームページによる情報発信、セールスツールの整備等を行い、観光需要の創出を図る。
7	航空路線利用促進事業	国際観光振興室	143,591	既存の上海線・ソウル線について航空会社や旅行社等と協議しながら、インバウンド・アウトバウンド両面での利用促進策を図るとともに、新たに就航が決定した香港線についても、関係機関と連携した現地プロモーションの実施により、香港はもとより広東省やマカオ等からの誘客拡大に努める。また、旅客需要が見込まれるアジア地域からの更なる国際航空路線誘致に向けて積極的にセールス活動を行う。